

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	こどもが輝くまちづくり推進プロジェクト ～未来のまち やわた～		実施期間	平成26年度～ 平成30年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続	
地域における現状、課題及び住民ニーズ	八幡市の人口も減少傾向にあり、社会経済の根幹を揺るがしかねない課題となっている。次代の社会を担う子どもを安心して生み育てる環境を整備し、子どもが健やかに育つことができる社会の実現や共働き世帯の増加により、放課後の児童の安全・健全な居場所づくりなどの支援体制時の充実が必要である。								
プロジェクトの目的及び概要	・さまざまな家庭環境の子育てニーズに対応するため、中学校給食を実施する。 ・子どもが集う教育施設の充実を図り、子どもがのびのびと遊び、学習する環境を整える。 ・京都府下No.1を目指し、子どもたちの学力向上のため、小中一貫教育の推進や学習支援員・スクールソーシャルワーカーの配置拡充、英語検定受験料の負担、教育環境の整備などを行う。 ・オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ振興、夢のある教育に取り組む。								
	総事業費（千円）	125,297	本年度事業費（千円）	79,597	交付金額（千円）	23,009			
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等）									
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）				
市町村 実施事業	特別支援教育支援事業費	交付対象事業	発達障がいなど様々な障がいのある児童・生徒を対象に、障がいによる困難を克服するための教育を行う。		特別支援教育支援員	小学校	14人	中学校	4人
	中管・共通経費（給食配送委託）	交付対象事業	親の負担を軽減し子どもと過ごす時間の確保に繋げるため、中学校給食を実施する。		市内中学校 全4校				
	小管・共通経費（小学校廊下等改修）	交付対象事業	児童の安全の為、小学校廊下に防滑性ビニル床シート等の整備を行う。		さくら小学校廊下改等改修工事				
	小管中管・共通経費（パソコン更新）	交付対象事業	デジタル教科書等を使用し、視覚的・効果的な授業実施のため、パソコン整備を行う。		パソコン整備	小学校	126台	中学校	62台
	共通経費（部活動施設利用助成・備品整備）	交付対象事業	スポーツを通じた健康を育むため、部活動で使用する備品を整備し、部活動での施設利用に対する助成を行う。		部活動備品整備	8品目（8数） 部活動施設利用助成 6件			
	学校施設整備事業	関連事業	老朽化しているコンピュータ室やトイレの改修を実施する。		南山小学校トイレ改修工事				
住民 協働 事業	母子保健指導事業費	交付対象事業	出産・育児の不安解消に向け、産前産後ヘルパーの派遣等の実施し、乳幼児の健康相談の実施方法や内容を充実させる。		産前産後ヘルパー派遣	3人 10か月児育児健康相談 18回（相談者 420人）			
	子育て支援センター運営費（子育てサークル補助金）	交付対象事業	親同士が相談や情報交換を行うことができる地域の子育てサークルの活動支援を行う。		講座	17回（参加者 434人）			
	学力向上推進事業費	交付対象事業	学力向上プランに基づき授業改善、補習の充実、自学自習力の向上、教育環境の充実、家庭教育への支援等を行う。		学習支援員配置	52人 スクールソーシャルワーカー配置 2人 英語スピーチコンテスト開催 英語検定受験料負担			
	小振・共通経費（「夢の教室」実施）	交付対象事業	市内小学校でスポーツ選手による子どもたちの夢を育む授業を実施する。		講義・実技指導等実施	21回			
	スタディサポート事業（鳩嶺教室）	関連事業	低所得世帯の中学生を対象に、民間教育機関による学習機会を確保する。		受講者	136人			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：八幡市

住民が 取り組む 事業				
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	スタディサポート受講者 120人		成果指標の実績値 (31年4月1日時点)
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	前年度より増、目標数値より増となり、学力向上推進に寄与した。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)
成果 指標 ②	成果指標の目標数値			成果指標の実績値 (31年4月1日時点)
	成果指標の達成状況		(左の理由)	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果	子どもの教育環境を整えるとともに、子育て支援事業により、妊娠・出産から子育てまで、地域で一貫したサポートが受けられるよう保護者の子育て支援環境の充実を図り、少子化対策に寄与した。			
※未達成の場合も効果 を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。			
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果	スタディサポート事業により、低所得者世帯の中学生の学習機会を確保し、学力向上推進に寄与した。		
	府と市町村等との連携に資する成果			
	住民の自治意識を高める成果			
	リーディング・モデル成果	府下学力NO. 1に向けて、学習支援員・スクールソーシャルワーカーを配置した。		
	広域的波及成果			

# みらい戦略一括交付金      プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：八幡市

	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	デジタル教科書を導入することで、視覚的・効果的な授業の実施ができ、子どもたちの学習に対する意欲や関心の向上につながった。

（記載要領）

- 1    プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2    記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3    事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4    成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。